



千葉労働新聞

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

93.2.10 No. 3737

営業分科会・第1回役員会も開催

今春の闘いが93年を決する

二月五日、十四時より本部において第一回役員会がひらかれ、二・三月の闘いにむけての意思一致をかちとった。

始めに、田中書記長より「分割・民営化強行から五年目、矛盾と危機は一層深まり、その見直しを含めた新たな攻撃の火中にたつている。団結を固めきり反撃戦に立とう」と訴えられた。会議の中心は、「何のための分割・民営化だったのか」徹底的に暴露・断罪するときをむかえている。自分達をとりまく状況を分割・民営化の破綻という現実と結びつけてとらへ、闘っていくことが大事だということを確認した。

こうした現状の中で、千葉支社は、年度末合理化で営業関係六十三名もの削減を強行しようとしている。強制配転者の塩づけはもとより、千葉以東七〇〇メートル圏の駅の無人化ないし「夜間の無人化」、総武線のホーム要員の無人化など安全をきりすて、旅客サービスをないがしろにする施策が実施されようとしている。

これらの大量合理化に対し、営業分科は当該分科として、怒りも新たに、これらと対決していくことを確認した。

三月、四月、六月、秋へとつづくダイ改合理化をはねかえすために今春の闘いを全力で取り組むことを決定し、散会した。

家族会第6回総会かちとる



これからもしっかり

第29回定期委員会

■日時・2月13日(土)13時
■場所・千葉市民会館

二月七日、千葉市社会センターにおいて、第六回家族会総会が開催された。

総会は、家族、子供たちが二〇名余りが参加するなか行なわれ、「親組合との連携を強め、解雇撤回・清算事業団組合員の原職奪還に向けて全力をあげる」「戦争へ向けた動きに反対し、闘う婦人との交流を深める」との今後の取り組みを決定した。また、中野委員長を交え、それぞれざつくばらんな質問や意見を述べ合った。

- ① 家族会の役員について、順番で各支部ごとに本部家族会の役員を構成したらどうなのか?
- ② 家族会の活性化をかちとるためにはどうしたらいいのか?
- ③ こどもの夏休みの自由研究



の課題になるような取り組みを行なって欲しい。
④ こどもの教育をどうしたらいいのかなどの講座を行なったらいいかのでは?

⑤ 家族会の運動も曲がり角であり、今後につなげるためにも親組合も頑張ってほしい。などの意見が出された。

また、中野委員長は、「戦後のタブー(自衛隊の海外派兵、天皇の訪中、核武装)など大変な状況となっている。また、憲法論議が非常に盛んとなっている。自民党は、昔から改憲を狙っているが、いまは改革派を名乗る「平成維新の会」「シリウス」「日本新党」などという話となっている。家に縛り付けられている存在となっている女性が社会的・政治的に目覚めていくことが、政府・支配者にとつて驚異となる。労働千葉のなかでも家族会を育てていくのはなかなか困難な課題だが親組合も全力でバックアップするので頑張ってほしい。」との答弁を行なった。

総会は最後に、佐藤会長を始めとする役員体制を確認し、終了した。

団結固め
93年の勝利のためガンバロー